

社会科

NAVI

ナビプラス

小学社会



SDGs編



令和6年度版『小学社会』
SDGs わたしの指導提案

本資料は、一般社団法人教科書協会
「教科書発行者行動規範」に則り、
配布を許可されているものです。

日文の新版教科書情報

詳しくはWebへ!

日文

検索



※本冊子掲載二次元コードのリンク先コンテンツは
予告なく変更または削除する場合があります。

令和6年(2024年)度版小学校社会科
内容解説資料として扱われます。

未来をになう子どもたちへ
日本文教出版

令和6年度版 『小学社会』 SDGs 関連ページのご紹介

1. 特設ページ 「未来につなげる～わたしたちのSDGs～」

単元の学習を終えて、もっとくわしく調べてみたいことや、気になったことをSDGsと関連づけて取り上げたページです。子どもが興味・関心をもった内容について、自分で追究を進められる展開のほかに、読みもの資料として、取り組み事例を紹介するページもご用意し、自主学习などにもご活用いただけます。

学習の最後には、追究したことをまとめたり、どのような取り組みをしたいか自分ごととして考えたりする場面を設けました。この場面で、巻末付録のSDGsの目標シールも活用することができます。→指導提案は本書P.4-5

2. 側注「考えよう！SDGs コーナー」

各ページの学習内容に関連づけて、日本や世界に見られる諸課題や、解決するための取り組みを紹介しています。3～6年で、合計32か所のコーナーを新設しました。


コーナーの右上に設けた二次元コードをタブレットなどで読み取ると、関連するSDGsの目標や事例をより深く捉えることができるワークシートへアクセスすることができます。→提案は本書P.6-7



考えよう！SDGs

3 すべての人に健康と福祉を

世界では、毎年およそ135万人が交通事故でなくなっています。交通事故で命を落とす人をへらすため、それぞれの地いきでひつような取り組みがおこなわれています。たとえば、体が不自由な人や目が不自由な人のための信号のボタンをふやすことも、その一つです。どんな人も安全にまちをいどうできるよう、しせつやせつびをくふうすることがたいせつです。



考えよう！SDGs

6 安全な水とトイレを世界中に

世界全体では、およそ4人に1人が、今も安全な飲み水を手に入れることができません。健康な暮らしをさせる安全な水やトイレを、だれもが利用できるようにすることが、求められています。



③川の水をくむ子ども(ウガンダ)

「考えよう！SDGs コーナー」 取り扱い目標一覧
各学年の発達の段階に合わせて、適切にコーナーを配置しています。

3～6年の4年間で
1～17のすべての
目標を取り扱って
います！



だれ一人取り残すことなく、安定して人々が地球でくらししていくことができるよう、世界の様々な問題を整理して、2030年までに達成すべき目標として示されたSDGs。そのSDGsについて、令和6年度版『小学社会』で新設したページなどをご紹介します。

3. SDGsの目標シール

巻末付録にはSDGsの目標シールを設けています。学習したことが、SDGsの17の目標とどのように関係するのか、シールを選んでみることで、自分の考えを深めたり、友達と交流したりするきっかけづくりに最適です。シールは、貼ってはがせるつくりになっているので、友達と話し合いをしながら考えることにも向いています。

シールは、特設、巻末ページで使えるほか、ノートやワークシート、成果物に貼って使うこともできます。また、社会科だけでなく、生活科や国語科、特別活動、自由研究など、幅広い場面で活用いただけます。

→提案は本書 P.8-9



筑波大学教授
井田仁康先生からの

実践時の心構え

世界には様々な人々が住んでおり、様々なことがおこる。開発が進むことによる地球全体におよぼす環境悪化、戦争などによる人的被害、貧困、差別など地球規模で解決しなければならない課題が数多くある。そうした地球規模の課題を解決し、すべての人々が幸福(Well-being)になるために達成すべきとされるものがSDGs(Sustainable Development Goals; 持続可能な開発目標)である。SDGsは、2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載され、2016年から2030年までの国際目標である。換言すれば、地球を守り、そこに住む人々を幸福にするという、すべての国が合意できたものである。その内容は17の目標と169のターゲットからなるが、「すべての人々」を対象としていることが大きなポイントだ。SDGsは、「すべての人々」の幸福を実現し、将来にわたって地球を大切に維持していく

ために必要な目標なのである。

一方で、自分や自分の周り、自分の国の人々というように、目に見え、直接経験できるイメージしやすいことと異なり、地球規模やすべての人々というのは、実感がわきにくく、自分ごととはなりにくい。そこで、本教科書では、3年生から6年生まで、社会科の様々な場面でSDGsが関わっていることを紹介し、それぞれの場面で繰り返しSDGsについて考えてもらうようになっている。これにより、SDGsは他人ごとではなく、自分ごととして捉えられるようになることができるであろう。社会科は過去や現在のことを理解するだけでなく、その理解をふまえて将来を見据える、未来志向の教科である。SDGsを念頭に授業実践することで、未来に目を向け、未来の世界(地球)を築く子どもたちのための社会科としての意義は深まる。

持続可能都市 「スマートシティ」

～宇都宮市の取り組み～

江東区立八名川小学校 澤田純二



SDGsの目標に関する学習が各学校で進められるようになってきたが、そのままでは児童にとっては決して身近な目標とは言えない。しかし、具体的に追究していくと、児童自身が参画できる目標があることに気づかせることができる。ここで紹介する『小学社会』5年P.236～237では、宇都宮市の取り組みを例に、各自治体にSDGsの目標に向けた取り組みがあることを理解させる。5年生の社会科の学習で児童は、「日本の国土とくらし」で地形や気候を生かしたくらしを追究し、「食料生産」「工業生産」では、高齢化や働き手不足の問題についても考えてきている。また、「未来につなげる～わたしたちのSDGs～」では、佐賀市、横浜市、東広島市の事例を扱っているので、宇都宮市を合わせて、自治体の取り組みの重要性を理解することができるはずである。そのうえで、自分が住む自治

体の取り組みを調べることで、自分が参画することができるものがあることに気づくことができる。例えば江東区では「地域の活力を生み出すまちづくり」に取り組んでいる。江東区でも、地域コミュニティの希薄化や公共的な活動を支える担い手の高齢化、次世代の担い手不足などが深刻な課題となっており、産業や防犯、防災など多様な分野に影響をおよぼしている。また、商店街や中小企業は、人材確保や事業継承などの経営課題を抱えている。そのため、スポーツや観光・芸術文化活動の振興など様々な取り組みと連動させながら、地域コミュニティと地域経済の活性化を図っている。児童が、お祭りなどの地域行事やスポーツイベントなどに積極的に参加し、地域の人々と交流することがSDGsの目標達成に近づくのである。ぜひ、学んだことを生かして行動してほしいと考える。

発問例

日本の自治体が抱える問題にはどのようなものがあるだろうか。

宇都宮市では、どのような取り組みがされているだろうか。

自分たちには、何ができるだろうか。

持続可能都市「スマートシティ」～宇都宮市の取り組み～

●問いをもつ

人口予想グラフ

- ・ 少子高齢化
- ・ 過疎化
- ・ 働き手不足

自治体はどうしたらいいのだろうか？

●宇都宮市の取り組み

宇都宮市では、持続可能なまちをつくるためどのような取り組みをしているのだろうか

予想

- ・ 佐賀市のように、バイオなどの技術開発をおこなっている
- ・ 横浜市のフードバンクのように、仕組みをつくっている
- ・ 東広島市の未来都市のように、SDGsの目標を決めて取り組んでいる

調べてわかったこと

- ・ モビリティ（自動運転等）
- ・ ホスピタリティ（生体認証等）
- ・ エネルギー（地域新電力）

まとめ

国内初の新線新設軌道のLRTを軸に、先進的なデジタル技術を活用した実証実験や、二酸化炭素の排出量を減らす取り組みを進めるなど、持続可能な都市の実現を進めている。

●江東区の取り組み

江東区では、持続可能なまちをつくるためどのような取り組みをしているのだろうか

調べてわかったこと

- ・ 江東区は、「みんなでつくる伝統、未来 水彩都市・江東」をめざして、SDGsをふまえた取り組みを進めている
- ・ 地域コミュニティと地域経済の活性化を図っていくため、「地域の活力を生み出すまちづくり」を進めている

●自分には何ができる？

ふりかえり

SDGsに近づくため、わたしたちも地域行事に参加するなどしていきたい。



板書のPOINT

「問いをもつスペース」「宇都宮市の取り組みを追究するスペース」「江東区の取り組みから自分につなげるスペース」と3分割する。

予想を追究する形で上下に並べて記述する。まとめは、児童の言葉で板書する。

グラフや資料、写真資料などを必要に応じて掲示していく。

本時の展開例

児童の活動と内容	指導上の留意点
<p>教 教師の発問・指示・説明例 児 予測される児童の発言</p> <p>1 日本の自治体が抱える問題について知る。</p> <p>教 資料①日本の未来人口予想から、日本の自治体が抱える問題は、どのようなことが考えられますか。</p> <p>児 日本は少子高齢化や過疎化が進んでいる。</p> <p>児 農業や水産業の学習でも問題になっていたように、働き手が不足している。</p> <p>児 人々が豊かで安心・安全な暮らしを続けていくには、自治体はどうしたらいいのだろう。</p> <p>教 宇都宮市のスマートシティを例に考えてみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none">・資料①日本の未来人口予想から人口減少とこれまでの単元で学習してきた働き手の問題を合わせて考えさせる。・SDGsの目標やロゴを掲示し、人々が豊かで安心・安全な暮らしを続けていく持続可能な社会を意識させる。・宇都宮市の取り組みにつながるように、日本の自治体が抱える問題点を取り上げ、解決するためにどうしたらいいか考えさせる。

学習問題

宇都宮市では、持続可能なまちをつくるためにどのような取り組みをしているのだろうか。

<p>2 問いについて予想した後、宇都宮市のスマートシティについて調べる。</p> <p>児 モビリティ（自動運転等）</p> <p>児 ホスピタリティ（生体認証等）</p> <p>児 エネルギー（地域新電力）</p> <p>3 宇都宮市のスマートシティについてまとめる。</p> <p>教 宇都宮市のスマートシティについてまとめてみましょう。</p> <p>児 国内初の全線新設軌道のLRTを軸に、先進的なデジタル技術を活用した実証実験や、二酸化炭素の排出量を減らす取り組みを進めるなど、持続可能な都市の実現を進めている。</p>	<ul style="list-style-type: none">・これまで学習したSDGsの取り組みの資料を用意し、予想の際に必要な応じて活用する。 佐賀市の取り組み (P.66)「バイオマス産業都市」 横浜市の取り組み (P.134)「フードバンクかながわ」 東広島市の取り組み (P.192)「SDGs未来都市計画」・宇都宮市ホームページから資料をダウンロードして活用する。
<p>4 自分たちの地域の取り組みを調べ、自分にできることを考える。</p> <p>児 江東区は、「みんなで作る伝統、未来 水彩都市・江東」をめざして、SDGsをふまえた取り組みを進めている。</p> <p>児 地域コミュニティと地域経済の活性化を図っていくため、「地域の活力を生み出すまちづくり」を進めているので、わたしたちも地域行事に参加するなどしていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none">・資料として「江東区長期計画（概要版）」を江東区ホームページよりダウンロードして活用する。・お祭り等の具体的事例を提示し、江東区が進めるまちづくりに、自分たちも参画できることに気づかせる。

本時の目標 宇都宮市の「スマートシティ」の取り組みを調べるとともに、自分たちの地域の自治体でも同様に、持続可能な社会をめざしていることを理解し、自分にできることを考えることができる。

本時の評価

- ・宇都宮市や江東区のホームページからの資料を活用して、それぞれの自治体でSDGsの目標に向けた取り組みが進められていることを理解する。（知識・技能）
- ・持続可能なまちづくりを考えることができている。（思考・判断・表現）

筑波大学教授
井田仁康先生
からの
こがキラリ



将来を考えようとする授業では、子どもの夢が先行しがちだが、澤田先生の指導提案では、SDGsを念頭に未来を志向しながら、現状の課題を把握し、そのうえで現状分析を行い、それをふまえ行政などの取り組みを検討したうえで、自分たちがよりよい将来のためにできることを考えさせるという構成になっている。つまり、現実と向き合って、課題の解決の方策を見出すという、しっかりした社会科の授業となっている。未来社会を構築するためのステップがこの授業では示されており、現実をふまえた本来の意味での夢のあるまちづくりをめざす授業である。

「考えよう！SDGs コーナー」の活用法

令和6年度版日本文教出版『小学社会』教科書では、3年「わたしたちの住んでいる市のようす」が、SDGsが初めて登場する単元である。それゆえ、この単元でSDGsについて考えることは、とても重要である。指導計画は、以下のとおりである。

単元の指導計画

①問題を発見する力を身につける学習

- 姫路市のようすを地図で調べる。
- 「姫路集め」をして、問いをもつ。
- 疑問を集めて、学習問題を立てる。
- 学習問題について予想し、学習計画を立てる。

②問題を追究・解決する力を身につける学習

- 学校のまわりの見学計画を立てる。
- 学校のまわりを見学し、見学カードを書く。
- 見学したことを白地図にまとめる。
- 姫路駅のまわりを調べる。
- 市役所や公共施設が集まるところを調べる。
- 姫路城のまわりの古い町なみがのこるところを調べる。
- 田や畑の多いところを調べる。…農業
- 山にかこまれたところを調べる。…林業
- 海に近いところを調べる。…工業
- まわりを海にかこまれているところを調べる。…島の生活、仕事、漁業

③調べたことをまとめる力を身につける学習

- 姫路市を白地図にまとめる。
- 学習問題について話し合う。
- ガイドマップをつくる。

SDGsが側注コーナーで登場するのは、P.25「市役所やみんながりようするしせつがあるところ」の学習である。市役所のはたらきの一つとして、姫路市では、SDGsを市民に知ってもらい、ともに取り組むための活動をしている。そこで、まず、「SDGsとは何か」を学ぶ時間が必要である。これは、総合的な学習の時間や特別活動などにおいてできる。社会科では、その活動の例として、ワークシートを活用して児童に身近な市役所の取り組みを調べたい。

姫路市は、令和3年5月に内閣府より「SDGs未来

考えよう！SDGs



3年 P.25
「考えよう！SDGs
コーナー」



ひめじ 姫路市では、2030年までに世界中が達成すべき目標であるSDGsを市民に知ってもらい、ともに取り組むための活動をしています。市の高校生などが、地いきの未来やSDGsについて話し合い、できることを考えるイベントを開いているのも、その一つです。

市役所やみんながりようするしせつがあるところ	姓	名	前
考えよう！SDGs コーナー（教科書P.24-25）			

●どんな目標があるの？

17 “世界のすべての人がみんなできがい、これらの目標をたっせいしよう”
 ・さまざまなパートナーシップのけんたをもちとして、こうかな的な、管業、市民社会のパートナーシップをすすめる。
 （※官民のパートナーシップ 長官や局長などの公的機関と民間の会社などによる協力）

●姫路市の取り組みを見てみよう。

姫路市では2030年までに世界中がたっせいするべき目標である「SDGs」を市民に知ってもらい、ともに取り組むための活動をしています。

【目標】
 ふるさとを愛する心をほぐくみ、SDGsマインドをもつ若者が、姫路地いきでかつやくしながら、海外と日本をつなぐ「かけ橋」となっているがためです。

【SDGsマインドをもつこくさい人材育成の取り組み】
 ・SDGsをいざいせした高校生のこくさい交流じぎょう
 ・これきし・平和を学ぶこくさい学習教育、こくさいからりゆう学生の受け入れなど
 ・高校生などがSDGsについて意見こうかんし、ていげんするひめじSDGsカフェ
 ・食ロスをおさげんするフードドライブやこども食業活動のすいしん
 ・世界いさんなどの文化のちようさ研究 など

●あなたの住んでいる市や町では、どのような取り組みをしているかな。

3年 P.25
「考えよう！SDGs
コーナー」のワークシート

- 郷土愛を育み、脱炭素型のライフスタイルを身につけたSDGsマインドを持つグローバル人材の育成
- 日常生活や経済活動の中で2050年脱炭素社会の実現に向けた「ゼロカーボンシティ」の取組

都市」に選定され、上記の二つをめざしている。

また、市内企業のSDGsに関する取り組みを明らかにするため、「姫路市SDGs宣言」を募集している。その内容は、本単元で児童が追究する市の各地域の良さにつながる。それゆえ、市役所の仕事として調べたのち各地を調べる学習活動では、様々なSDGsの目標が関連してくるので、SDGsと関連させて見方・考え方を働かせてそれぞれの地域の良さを考えられる。

例えば、P.32「海に近いところ」は、工業地域であり、様々な企業が集まっている。児童にとっては身近に感じられるところではないが、「姫路市SDGs宣言」を活用することで、具体的な姿が捉えられる。それゆえ、SDGs9「産業と技術革新の基盤をつくろう」と関連させて追究することができる。



姫路市 SDGs 宣言

P.26「古い町なみがのこるところ」では、観光案内所の竹一さんが「姫路市は、昔のようすがわかるたてもや町なみをのこすどりよくをしています。」と語っている。そこから、児童は「姫路市は、SDGs11『住み続けられるまちづくり』をがんばっている。」と考えられる。また、その中心となっている姫路城を世界文化遺産として誇りに思うと考える。

P.28「田や畑が多いところ」は農業を取り上げ、「平らな土地と川やため池の水を生かして、農作物が作られている」ので、その努力は SDGs2「飢餓をゼロに」につながる。また、「スマート市民農園」や「フードドライブ」の推進も取り上げることができる。

P.30「山にかこまれたところ」は、森林と林業について調べることができる。SDGs15「陸の豊かさを守ろう」と関連づけて捉えることができる。

P.34「まわりを海にかこまれているところ」は、海と島、漁業について調べることができる。SDGs14「海の豊かさを守ろう」につながる。豊かな自然があることは、姫路市への愛着や自慢につながると考える。

このように、それぞれの地域の良さを考える視点として、SDGsと関連させて見方・考え方を働かせることができる。そうすると、地図にまとめる活動やガイドマップづくりの際には、それぞれの地域に教科書付録の目標シールを貼ることができる。そして、姫路市の良さを、SDGsと関連させた考え方を働かせて、まとめることができるので、学習問題「わたしたちの住んでいる市は、どのようなようすなのだろう」の解決となり、学習指導要領の「県内における市の位置、地形や土地利用、交通の広がり、市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに

着目して市の様子を捉え、場所による違いを考え、表現する。」という単元の内容を達成することができる。その結果、「世界に自慢のできるわたしたちの姫路市」として地域への愛着につながると考える。



しかし、実際の学習活動では、すべてのSDGsを取り上げて授業を進めることは、現実的ではない。児童や学校の実態に合わせて、市の様子を捉えるのに有効な内容を選択する必要がある。また、**個別最適な学びと協働的な学び**では、調べる地域を児童が選択して、地域別のグループで調べられることもできる。その場合は、地域別グループ（ホームグループ）で情報交換をしたのち、全体でまとめたり、別の地域別グループ（アウェーグループ）を形成して内容を教え合ったりする学習活動もできる。

この3年生の初めの単元で **SDGsと関連させた見方・考え方で学習**することで、その学び方をこれからの学習でも、無理なく生かすことができるはずである。例えば、4年生では、市から県へと広がり、5年生では、産業学習へとつなげることができる。そして、6年生の政治学習では、この3年生の学習を発展させて、さらに詳しく県や市の行政を学び、国際理解学習では、より深くSDGsを考えることができると考える。

SDGsの目標シールで見方・考え方を働かせる使い方

※図②から図⑥は、著者の勤務校で独自で取り組んでいる様子の写真です。

持続可能な開発のための社会づくりに向けた教育においては、SDGsと関連させて見方・考え方を働かせることができるようにすることが大切である。そのなかで、SDGsの目標シールの活用目的は、日常的にSDGsに触れ、考えることができるようにすることである。そのため、以下の取り組みを進める。

1. 特設ページに貼る



図①

『小学社会』には、SDGsを取り上げた特設ページが各学年に設定されている。これは、年間の授業時数には含まれない時間だが、単元の学習の発展や総合的な学習の時間、夏休みの自由研究などで追究できる内容である。その最後には、取り上げられた各地域の内容に合ったSDGsの見方・考え方を働かせて目標シールを選び、貼るようになっている。

2. 巻末ページに貼る

『小学社会』の各学年の巻末には、その学年での「学習をふり返って」のページがある。学年の最後に一年間で学んだ内容や方法、考えたり、話し合ったりしたこと、表現したことを振り返り、どんな力が身についたかを振り返る。そして、次の学年の学習内容につなげていく。この振り返りに目標シールを使うことで、持続可能な社会づくりに大切な見方・考え方を継続して働かせることができる。

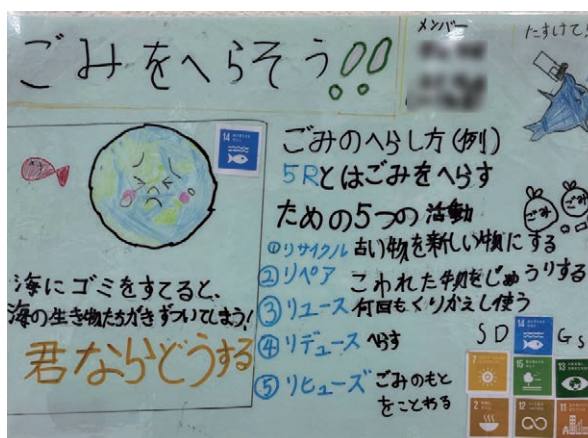
例えば、3年生のP.160～161では、「市のようす」で学んだことを振り返っている。「③安全なくらしを守る」では、子どもが「…火事や交通事故を見たら、すぐにつうほうするようにしたいね。」と発言し

ており、SDGs11「住み続けられるまちづくりを」やSDGs16「平和と公正をすべての人に」と関連させて考えられ、4年生・5年生の自然災害や6年生の政治学習へとつなげることができる。

3. 側注の「考えよう！SDGsコーナー」に貼る

側注の「考えよう！SDGsコーナー」は単元の追究を深めることができる内容である。例えば、4年生のP.66では、「世界の安全な水」を取り上げている。水道単元の導入や選択・判断で活用できる内容である。その単元の学習計画のなかに、「安全な水を飲んでいるのは世界でどのくらいの人だろうか」という発展的な問いや資料を加えることで、「世界全体では4人に一人が飲めない。」「わたしたちが安全な水が飲めることは当たり前ではない。」「水道に関わって働く人々の工夫や苦労がありがたい。」というような児童の反応が得られる。そこで、目標シールを選ばせてノートやワークシートにシールを貼ることで、SDGsと関連させて見方・考え方を働かせることができ、学びを深めることができる。「世界中の人々が安心して水を飲めるようにしたい。」と、国際理解教育や人権教育の視野を広げることもできる。

4. 授業のノートや成果物に貼る



図②

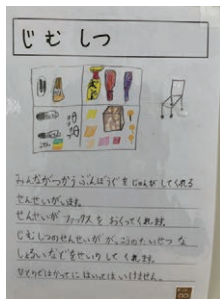
上記のように側注コーナーを使わなくても、授業で使っているノートやワークシートに貼ることができる。また、単元のまとめとして作成する新聞などに貼

することで、単に知識のまとめで終わりがちな成果物が、SDGs と関連させて見方・考え方を働かせた思考を生み出すことができる。図②は、ごみの処理の学習の成果物として作成したポスターで、自分たちにできることを考え、全校児童に投げかける内容になっている。

5. 生活科や総合的な学習の時間に活用



図③



図④

図③④は、生活科の「学校たんけん」で作成したカードである。2年生が、入学した1年生に校内を紹介する活動の一つで、ここにもSDGsのシールを貼っている。児童は、図工室が何をやる場所なのかを考え、それに近いSDGs 4と12の目標を選んでいる。4は教育に関する目標だが、12は「持続可能な生活と消費」。児童は図工科の時間に「紙や粘土、木材などの材料を無駄に使わないように」と学んだことを生かして選んだようである。同様の理由で図④の事務室もSDGs12の目標になっている。このように、**低学年**であっても、SDGsに触れ、見方・考え方を働かせる一つとして活用することが大切であると考え。



図⑤

5年生の総合的な学習の時間では、各地でバケツ稲による米づくり体験が行われている。図⑤はその1年間をまとめたもので、その際にもSDGsのシールを活用している。

6. 国語科で活用「SDGsスピーチ」

校長講話や朝の会・帰りの会の友達のスピーチで、

SDGsに関連した内容を取り上げる際の工夫である。スピーチする側は、SDGsと関係しているか話することができるが、聞く側は受け身になってしまうことが多い。そこで、スピーチ用ノートを用意する。高学年ならば、ノートにスピーチの要点をまとめることは国語科の聞く力を高める学習となる。その際、スピーチの内容に合った目標シールを貼る活動を入れておくと、**聞くことに意欲的になり、SDGsと関連させて見方・考え方を働かせた思考を生み出すことができる。**

7. 特別活動（委員会や係活動）で活用

ユネスコスクールである著者の勤務校には、ユネスコやSDGsを広める目的の広報委員会がある。広報委員会や学級の掲示係等の活動において、日本や世界のSDGs等の活動を新聞記事から選んでコメントをつけて掲示する。その際、SDGsのシールを貼る活動を入れておくと、紹介する側もその記事を見る側もSDGsと関連させて見方・考え方を働かせることができる。



図⑥

図書室にSDGsコーナーをつくる、図書委員会が月ごとに重点的に取り組むSDGsの目標を決め、図書館司書の指導を受けて関連する書籍をコーナーに置く、書籍にSDGsのシールを貼る活動も有効である。

8. 夏休みの自由研究で活用

児童の主体的な学びを進めるため、夏休みの自由研究は力を入れたいところである。児童が関心の高い内容に自ら問いをもち、時間をかけて追究できるからである。夏休み明けに発表会や展示会を企画しておけば、成果物の作成にも力が入る。その際に、目標シールを貼って展示することで、展示する側も、見る側もSDGsと関連させて見方・考え方を働かせることができる。その他、指導する先生も授業に使う資料や配布物、校内の掲示に目標シールを貼ることで、日常的に児童の目に映り、その価値観に触れることができるようになる。そうすることで、**持続可能な社会の担い手としての資質・能力を育てるとともに、実践力につなげていくことができる**と考える。

SDGs の目標と関連のある教材一覧

令和6年度版『小学社会』では、特設ページ「未来につなげる～わたしたちのSDGs～」と側注「考えよう！SDGs コーナー」を通じて、**1～17のすべてのSDGsの目標を網羅**しています。

3年

未来につなげる～わたしたちのSDGs～

- 市に昔からのこるたてもいや自然を未来に受けつぐために（奈良県奈良市 P.42-43） **9 11 15**
- 食べられずにすてられてしまう食品をへらすために（東京都板橋区 P.92-93） **2 12**
- まちをみんなで安全にしていこうために（神奈川県相模原市 P.126-127） **9 11**
- だれもが出かけやすいまちづくり（三重県津市 P.156-157） **11**

考えよう！SDGs コーナー

- 市役所やみんながりようするしせつがあるところ（兵庫県姫路市 P.25） **17**
- 山の中にあるかまぼこ工場（P.55） **12**
- 琵琶湖や高速道路などへの出勤（P.105） **11**
- 安全に登下校ができるように（P.119） **3**



いたばしみんなの食べきりチャレンジ運動(東京都板橋区 P.92)

白山地いきを走るコミュニティバス(三重県津市 P.157)



4年

未来につなげる～わたしたちのSDGs～

- 石川県に昔から受けつがれてきた産業（石川県輪島市 P.28-29） **9 11 12**
- 多摩川の水を守るために（東京都狛江市 P.78-79） **6 11 15**
- 水害にそなえて自分たちにできることを考えよう（兵庫県佐用町 P.118-119） **13**
- 伝統を受けつぎ、未来につなぐ（東京都府中市 P.168-169） **11**
- 高千穂郷・椎葉山の産業や自然を未来に残すために（宮崎県高千穂郷・椎葉山地域 P.202-203） **2 11 15**

考えよう！SDGs コーナー

- ごみ問題に取り組む（P.47） **14**
- 毎日水が使えること（P.66） **6**
- 風水害を防ぐしせつを調べる（東京都 P.86） **11**
- くんにかける思い（長崎県長崎市 P.129） **11**
- 自然を守る（P.158） **15**
- 義雄の教えが残されているのは（兵庫県豊岡市 P.163） **11 4**
- 北海道でのかつやく（P.167） **5**
- 森林を生かす取り組み（岡山県真庭市 P.185） **15**

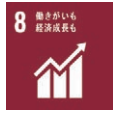
棚田の広がる光景(宮崎県高千穂町 P.202)



輪島塗の作業のようす(石川県輪島市 P.29)



SDGs の目標



5年

未来につなげる～わたしたちのSDGs～

バイオマス産業都市「エネルギーと資源が循環するまち」～佐賀市の取り組み～

(佐賀県佐賀市 P.66-67) **9 12 13**

限りある食料資源をたいせつにするために～横浜市の取り組み～ (神奈川県横浜市 P.134-135) **12**

工業生産のこれからのSDGsの問題～東広島市の取り組み～ (広島県東広島市 P.192-193) **9 11 13 14**

持続可能都市「スマートシティ」～宇都宮市の取り組み～ (栃木県宇都宮市 P.236-237) **9 11 12**

2025年日本国際博覧会 (大阪府大阪市 P.280-281) **3 4 6 8 13 17**

考えよう！SDGs コーナー

沖縄県のみりよくととは (沖縄県 P.39) **11 14 15**

豊かな自然とともに (P.47) **11**

おいしい米をとどける (P.91) **12**

魚がわたしたちのもとへとどくまで (千葉県銚子市 P.99) **2 14**

有田市のみかん作り (和歌山県有田市 P.115) **12**

なす作りのくふう (P.118) **3**

全国に広がるスマート農業 (P.131) **8**

環境にやさしい鉄 (P.167) **7**

これからの貿易 (P.181) **1 8**

働く人のことを考えて (P.186) **5 8**

これからの社会でかつやくする工業製品 (P.189) **7 9**

気象情報を活用する産業 (P.222) **7 13**

手入れされなくなった人工林 (埼玉県所沢市 P.259) **15**

森林がはたす役わり (P.261) **13 15**

研究技術によって見
つけ出された海洋プ
ラスチックごみ (広島
県東広島市 P.193)



狭山丘陵にある
「トトロの森」1
号地 (埼玉県所
沢市 P.259)



6年

未来につなげる～わたしたちのSDGs～

「彦根市子ども議会」で政治体験～よりよい市をつくりだすために～ (滋賀県彦根市 P.58-59) **11 14**

縄文時代の人々のちえをわたしたちの生活に生かす (P.104-105) **1 2 8 10 12 13 14 15 16**

歴史と文化がおりなすまち 古都鎌倉 (神奈川県鎌倉市 P.124-125) **9 11**

感染症とたたかい、人々の命を守った上杉鷹山と後藤新平 (山形県米沢市 P.164-165) **3**

日光の世界遺産を調べよう ～伝統的な技術と保存活動～ (栃木県日光市 P.194-195) **9 11**

安心して、暮らし続けられるまちづくりに向けて (埼玉県川口市 P.230-231) **4 11 15**

地球上の「だれ一人取り残さない」ことの実現に向けて～自分にできること～ (沖縄県 P.272-273) **10**

考えよう！SDGs コーナー

わが国の政治のはたらき (福岡県福岡市 P. 9) **5 10 11**

平和主義と人々の願い (P.27) **16**

考えたことを広げ深めよう (P.35) **3 8 11**

日本のあゆみ (P.63) **11**

世界に目を向けよう・自分の考えを深めよう (P.232, 270) **1～17**

上杉鷹山 (山形県米
沢市 P.164)



特別
付録

全学年の教科書巻末に 「SDGsの目標シール」がつきます！



教科書のコーナーでSDGsを通して学びを深めた子どもが、さらに主体的に楽しく取り組めるよう、「SDGsの目標シール」を用意しました。

話し合いで自分の考えが変わった時などに、貼り替えることができるよう特殊な接着糊を使用しています。

教科書では、こんなところに使えます！

特設ページ「未来につなげる～わたしたちのSDGs～」

3年生
6領域の学習を振り返って

1 わたしたちの住んでいるところ
まなさんたちは、学んだことをガイドマップにまとめ、発表しました。

4 市のようすや暮らしのつながり
ひろとさんたちは学んだことを年表にまとめて、話し合いました。

学年のふり返しページ

考えよう！ わたしたちのSDGs

●かんきょう学習をおこなうことが、どのように多摩川の自然を守ることにつながると思いますか。自分の考えをノートに書いてみましょう。

●あなたが住んでいる地いきを流れる川では、川をきれいにするための取り組みや、川の自然を活用した取り組みがおこなわれていますか。調べてノートに書いてみましょう。

ここに貼れます！

ノートやワークシートにも活用できます！

社会科 NAVI + 小学社会⑨

日文教育資料 [小学校社会]

令和5年(2023年)4月20日発行

編集・発行人 佐々木秀樹

発行所 日本文教出版株式会社

〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5

TEL: 06-6692-1261

本書の無断転載・複製を禁じます。

CD33653

日本文教出版 株式会社

<https://www.nichibun-g.co.jp/>

大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL:06-6692-1261 FAX:06-6606-5171

東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16
TEL:03-3389-4611 FAX:03-3389-4618

九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14
TEL:092-531-7696 FAX:092-521-3938

東海支社 〒461-0004 名古屋市中区葵1-13-18-7F・B
TEL:052-979-7260 FAX:052-979-7261

北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1
TEL:011-764-1201 FAX:011-764-0690